

管内証券会社の平成 26 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 東海管内証券会社（16 社）の 26 年 3 月期決算については、株式市場の活況を受けて株券委託手数料及び株券等トレーディング損益が大幅に増加。
- 販売費・一般管理費は人件費や取引関係費の増加等により、前期比 27.6%の増加。
- 営業損益は前期比 70 億円、経常損益は前期比 72 億円、当期純損益は前期比 59 億円の増加となり、それぞれ大幅に黒字が拡大。4 期連続の黒字。また、個社別に見ても管内全 16 社が黒字を計上。

（単位：億円、%）

| | 24 年 3 月期 | 25 年 3 月期 | 26 年 3 月期 | 前期比 | 増減率 |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----|-------|
| 営業収益 | 230 | 293 | 426 | 133 | 45.4 |
| 受入手数料 | 135 | 164 | 258 | 93 | 57.2 |
| うち株券委託手数料 | 62 | 79 | 154 | 75 | 94.4 |
| うち募集・売出し等の取扱手数料 | 46 | 57 | 68 | 10 | 18.7 |
| うちその他の受入手数料 | 25 | 25 | 33 | 7 | 27.3 |
| トレーディング損益 | 80 | 116 | 151 | 34 | 29.5 |
| うち株券等トレーディング損益 | 23 | 44 | 83 | 38 | 86.1 |
| うち債券等トレーディング損益 | 57 | 71 | 67 | ▲4 | ▲6.4 |
| 金融収益 | 14 | 12 | 17 | 4 | 37.8 |
| 金融費用（▲） | 4 | 3 | 4 | 1 | 32.1 |
| 販売費・一般管理費（▲） | 214 | 223 | 285 | 61 | 27.6 |
| 営業損益 | 12 | 66 | 136 | 70 | 106.1 |
| 経常損益 | 15 | 69 | 142 | 72 | 105.2 |
| 当期純損益 | 4 | 48 | 107 | 59 | 123.7 |

2. 営業収益の構成割合の状況

- 株券委託手数料及び株券等トレーディング損益の構成割合が、それぞれ 9.2 ポイント、4.2 ポイント上昇した反面、それ以外の科目の構成割合はそれぞれ 0.2 ポイントから 8.7 ポイント低下。

（単位：%）

| | 24 年 3 月期 | 25 年 3 月期 | 26 年 3 月期 | 前期比 |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 営業収益 | 100 | 100 | 100 | — |
| 受入手数料 | 58.8 | 56.0 | 60.5 | +4.5 ポイント |
| うち株券委託手数料 | 27.2 | 27.1 | 36.3 | +9.2 ポイント |
| うち募集・売出し等の取扱手数料 | 20.0 | 19.7 | 16.1 | ▲3.6 ポイント |
| うちその他の受入手数料 | 11.2 | 8.8 | 7.7 | ▲1.1 ポイント |
| トレーディング損益 | 35.0 | 39.8 | 35.4 | ▲4.4 ポイント |
| うち株券等トレーディング損益 | 10.3 | 15.3 | 19.5 | +4.2 ポイント |
| うち債券等トレーディング損益 | 24.8 | 24.4 | 15.7 | ▲8.7 ポイント |
| 金融収益 | 6.2 | 4.2 | 4.0 | ▲0.2 ポイント |

（参考）

- ・ 株券委託手数料：株券の委託売買にかかる手数料。
- ・ 募集・売出し等の取扱手数料：投資信託の募集や債券の募集・売出しの取扱い等にかかる受入手数料。
- ・ その他の受入手数料：投資信託事務代行手数料、保険募集手数料等。
- ・ 株券等トレーディング損益：自己の計算により売買した有価証券等の取引損益で主に株式の売買損益。
- ・ 債券等トレーディング損益：自己の計算により売買した仕組債、外債、私募債等の販売収益。
- ・ 金融収益：信用取引収益（自己融資の受取利息及び品貸料）、受取配当金・受取債券利子等。
- ・ 金融費用：信用取引費用（支払利息及び品借料）、借入金に対する支払利息等。



【お問合せ先】

財務省 東海財務局 証券監督課

TEL：（052）951-2498

管内証券会社の平成26年3月期決算の概要



平成26年6月27日
東海財務局



はじめに

東海財務局管内に本店を置く証券会社(以下の16社)の平成26年3月期決算について、取りまとめを行ったのでこれを公表する。

管内の証券会社(各県別、金融商品取引業登録番号順)

【愛知県内】

安藤証券(名古屋市)、岡地証券(同)、木村証券(同)、寿証券(同)、大万証券(同)、
田原証券(田原市)、野畑証券(岡崎市)、丸八証券(名古屋市)、
豊証券(同)、三縁証券(同)

【岐阜県内】

新大垣証券(大垣市)

【静岡県内】

静岡東海証券(静岡市)、静岡ティーエム証券(同)、中泉証券(磐田市)

【三重県内】

松阪証券(松阪市)、百五証券(津市)

- ※ 各計数は、当局調査に基づく暫定の計数を集計したものであり、今後変動することがある。
- ※ 「全国」の計数は、金融庁調査に基づくもの(6月9日時点)であり、全国の財務局監理証券会社の集計値である。
財務局監理証券会社とは、証券会社のうち金融庁長官の指定する証券会社(大手・外国証券等)以外の会社をいう。
26年3月期における財務局監理証券会社数は182社であるが、期毎に社数の変動があることに留意する必要がある。
- ※ 億円未満切捨てで表示しており、トータルと内訳の計数は必ずしも一致していない。

損益の状況

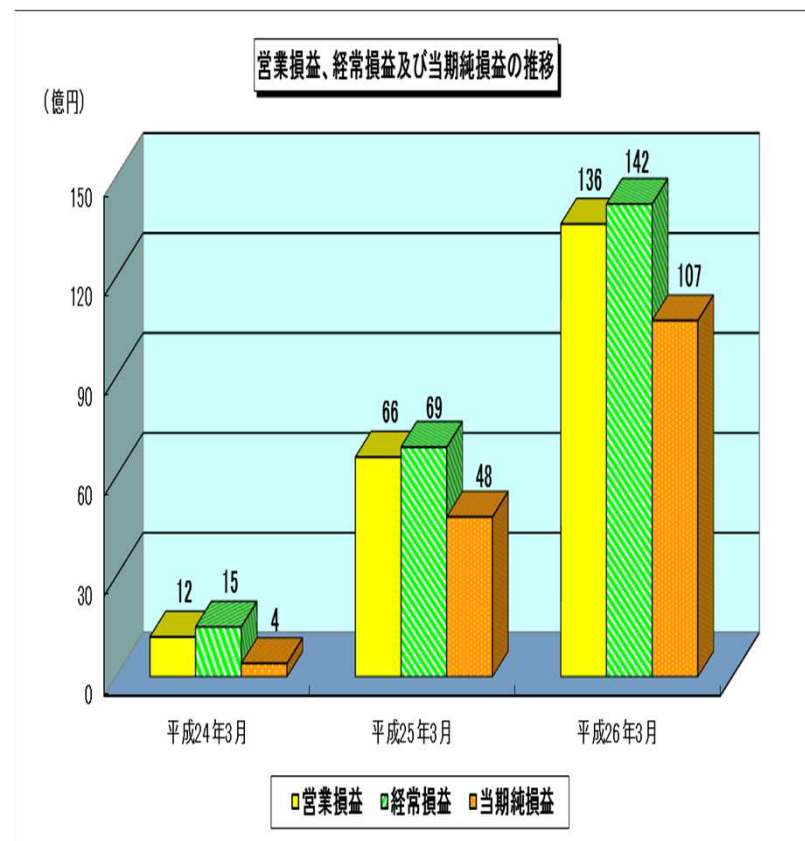
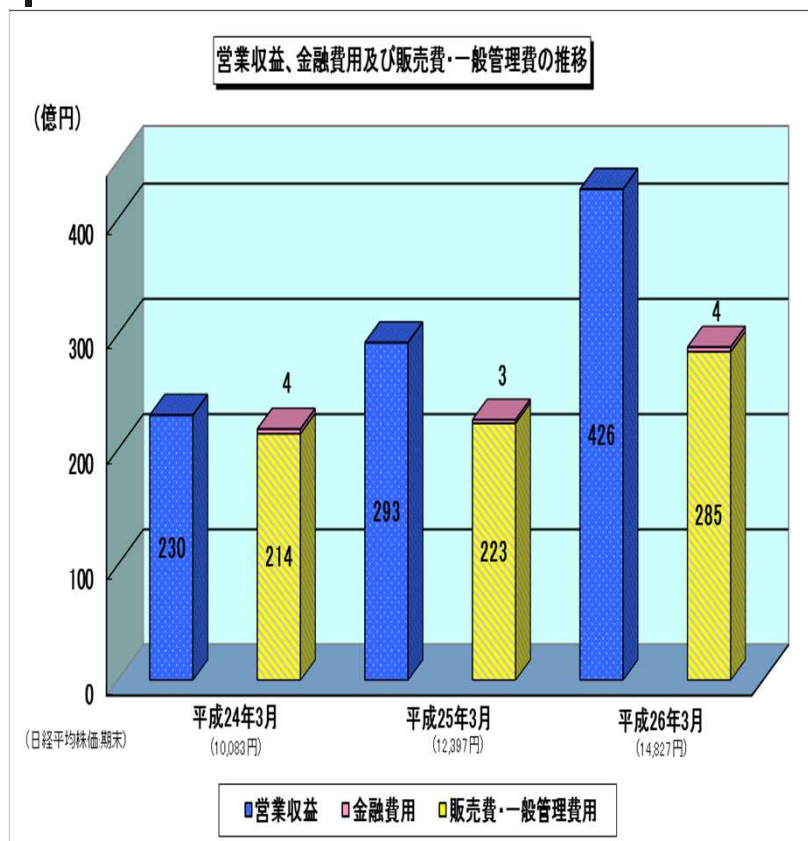
(単位:億円、%)

| | 24年3月期 | | 25年3月期 | | 26年3月期 | | 前期比増減率 | |
|-----------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 管内 | 全国 | 管内 | 全国 | 管内 | 全国 | 管内 | 全国 |
| 営業収益 | 230 | 3,406 | 293 | 3,983 | 426 | 4,950 | 45.4 | 24.3 |
| 受入手数料 | 135 | 2,097 | 164 | 2,390 | 258 | 3,379 | 57.2 | 41.3 |
| うち株券委託手数料 | 62 | 720 | 79 | 952 | 154 | 1,749 | 94.4 | 83.6 |
| うち募集・売出し等の取扱手数料 | 46 | 483 | 57 | 608 | 68 | 691 | 18.7 | 13.6 |
| うちその他の受入手数料 | 25 | 754 | 25 | 704 | 33 | 814 | 27.3 | 15.6 |
| トレーディング損益 | 80 | 1,050 | 116 | 1,321 | 151 | 1,255 | 29.5 | ▲5.0 |
| 金融収益 | 14 | 167 | 12 | 164 | 17 | 239 | 37.8 | 45.5 |
| 金融費用(▲) | 4 | 64 | 3 | 55 | 4 | 76 | 32.1 | 37.2 |
| 販売費・一般管理費(▲) | 214 | 3,425 | 223 | 3,335 | 285 | 3,745 | 27.6 | 12.3 |
| 営業損益 | 12 | ▲84 | 66 | 591 | 136 | 1,126 | 106.1 | 90.6 |
| 経常損益 | 15 | ▲18 | 69 | 663 | 142 | 1,223 | 105.2 | 84.3 |
| 当期純損益 | 4 | ▲222 | 48 | 618 | 107 | 1,260 | 123.7 | 103.8 |

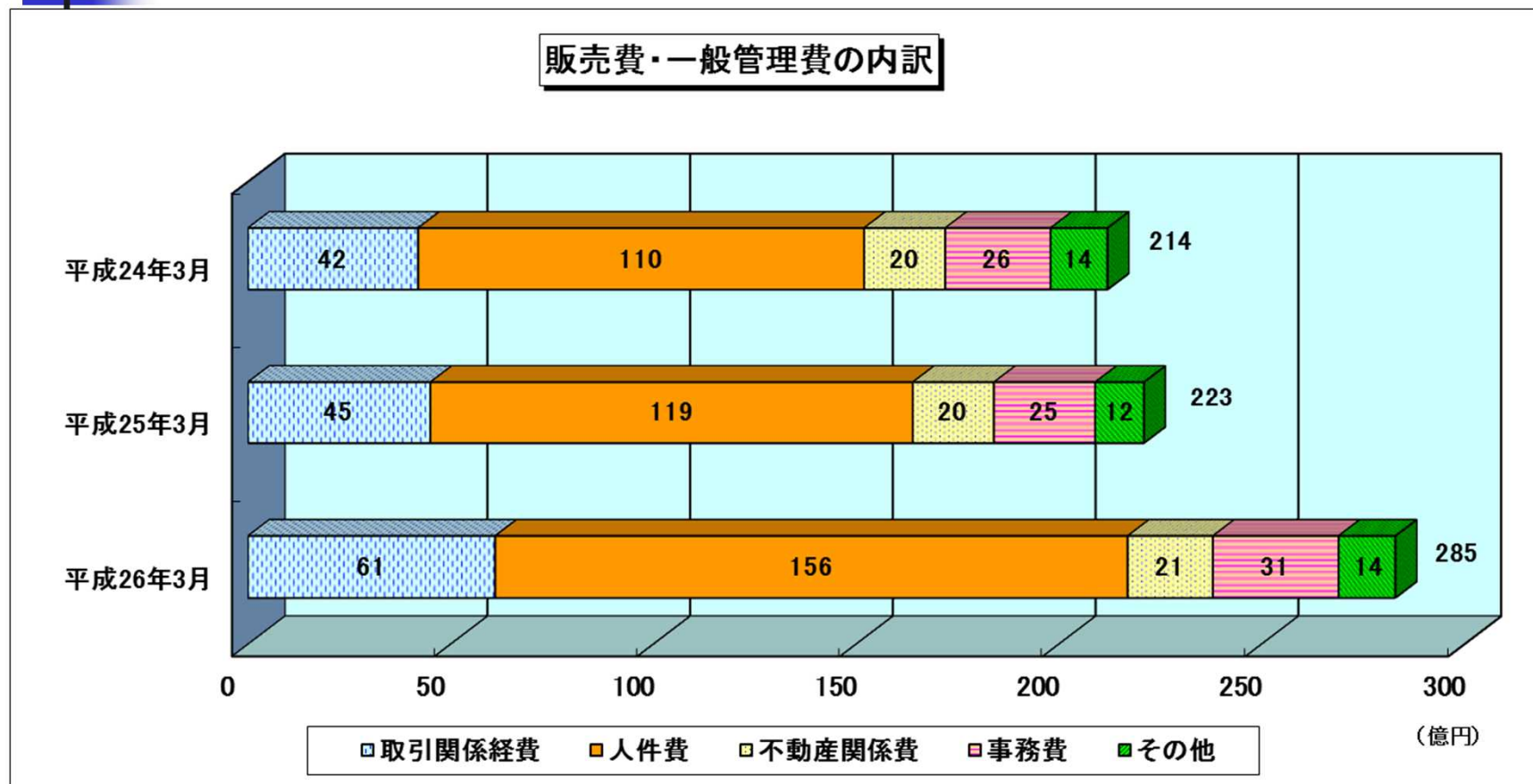
(注) 全国:全国の財務局監理証券会社182社の合計。
 営業損益=営業収益-金融費用-販売費・一般管理費
 経常損益=営業損益+営業外収益-営業外費用
 当期純損益=経常損益+特別利益-特別損失

営業外収益:営業活動以外の原因により経常的に発生する収益。
 営業外費用:営業活動以外の原因により経常的に発生する費用。
 特別利益:固定資産売却益、引当金戻入など特別な要因で計上される利益。
 特別費用:固定資産売却損、引当金繰入など特別な要因で計上される損失。

営業損益、経常損益及び当期純損益の状況

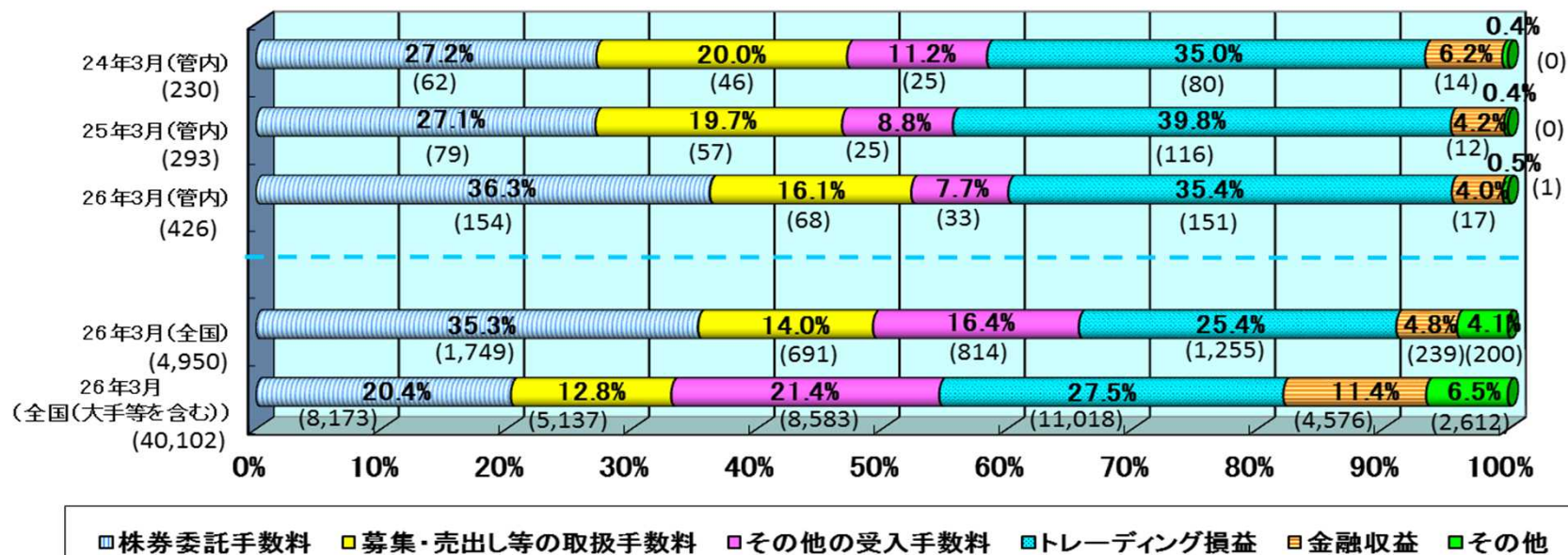


販売費・一般管理費の内訳



営業収益の構成状況

営業収益の構成割合の推移



(注1) その他の受入手数料は、投資信託事務代行手数料、保険募集手数料等。

(注2) 「全国」の計数は、全国の財務局監理証券会社182社の合計(6月9日時点)。

(注3) 「全国(大手等を含む)」の計数は、金融庁監理会社を含んだ国内証券会社233社の集計値(6月9日時点)。

(注4) ()内は億円単位の金額。